

(1) FFJ 検定「特級」の受検に必要な書類と手続きの方法

- 1 FFJ 検定「特級」は、FFJ 検定基準により、各県連盟より推薦されたものを審査し、授与するものです。
- 2 特級審査は、文部科学省、常任顧問校長等で組織される日連特級検定委員会において行います。
- 3 特級検定は、県連盟から推薦された受検者の業績を示す記録や証明書類等をもとに、審査します。
- 4 県連盟及び一単位クラブからの推薦者数に、制限はありません。

5 審査に必要な提出書類等は、次のとおりです。

(1) クラブ員が準備するもの

①FFJ 検定「特級」願書（様式Ⅰ）

②プロジェクト報告書

プロジェクトの成果を、A4判10枚程度（添付する写真・図表・グラフ等も含む）にまとめたものをパソコンで作成する。（別紙（2）FFJ 検定「特級」の出願方法および（3）プロジェクト報告書のまとめ方参照）

③要旨書

④受検手数料 2,000円(郵便為替)

クラブ員はこれらの書類を一括して、所属する単位クラブに提出する。

(2) 単位クラブが行うこと

推薦書（様式Ⅱ①②）

個人ごとに作成し、必要事項を記入する。

書類は、上記（1）①③と推薦書のデータをメール等で県連事務局に提出する。

上記（1）②の原本およびコピー10部（計11部）と上記（1）④を郵送等で県連事務局に提出する。

(3) 県連事務局が行うこと

①FFJ 検定「特級」受検者一覧表の作成（様式Ⅳ）

②各県連盟事務局は、各単位クラブから提出された書類をもとに審査を行い、県連盟代表の承諾を得た上で下記の書類をメールおよび郵送で日本学校農業クラブ連盟事務局宛に提出する。

- ・FFJ 検定「特級」受検者一覧表（様式Ⅳ）、申し込み様式一式（様式Ⅰ～Ⅲ） …メールにて提出
- ・プロジェクト報告書（原本およびコピー10部）、受検手数料 …郵送にて提出

<提出先> 日本学校農業クラブ連盟事務局 (jimu@natffj.org)

〒102-0074

東京都千代田区九段南4丁目3-3

シルキーハイツ九段南2号館104号室

TEL 03-5357-1661 FAX 03-5357-1667

*「FFJ 検定特級関連書類在中」と朱記する。

6 受検書類の提出は、令和7年9月11日（木）を締め切り（必着）とする。

7 審査結果については、日連代表が各県連盟を通じて受検者に通知するとともに、機関誌リーダーシップに合格者を掲載します。検定に提出した書類は返却しませんのでご注意ください。

8 受検者がいない場合は県連盟でまとめて、別紙（7）受検者数報告様式（様式Ⅴ）を日本学校農業クラブ連盟事務局 (jimu@natffj.org) までメールにてご報告ください。

(2)FFJ 検定「特級」の出願方法

プロジェクト報告書

- プロジェクト報告書は、A4 版横書き、片面印刷 10 枚程度にパソコンで入力し、まとめる。
- 図、表、写真なども、必要に応じて縮小するなどの工夫をし、報告書の 10 枚に含めること。
- 報告用紙は、プレゼンテーションソフトなどの発表様式などを使用せず、図、表などは見やすくまとめること。
- 表紙は作らない。1 枚目のはじめにテーマ、学校名、氏名を書くこと。
- FFJ 検定「特級」申し込みには、プロジェクト報告書と要旨書を作成して提出する。
- FFJ 検定は個人を対象に審査するので、プロジェクト報告書は、各自が報告書を作成する。
- グループでの共同研究の場合は、自分が共同研究のなかでどこを担当したかを明記し、取り組み、実践した部分をまとめること。同じ報告は認めない。

FFJ ファイル

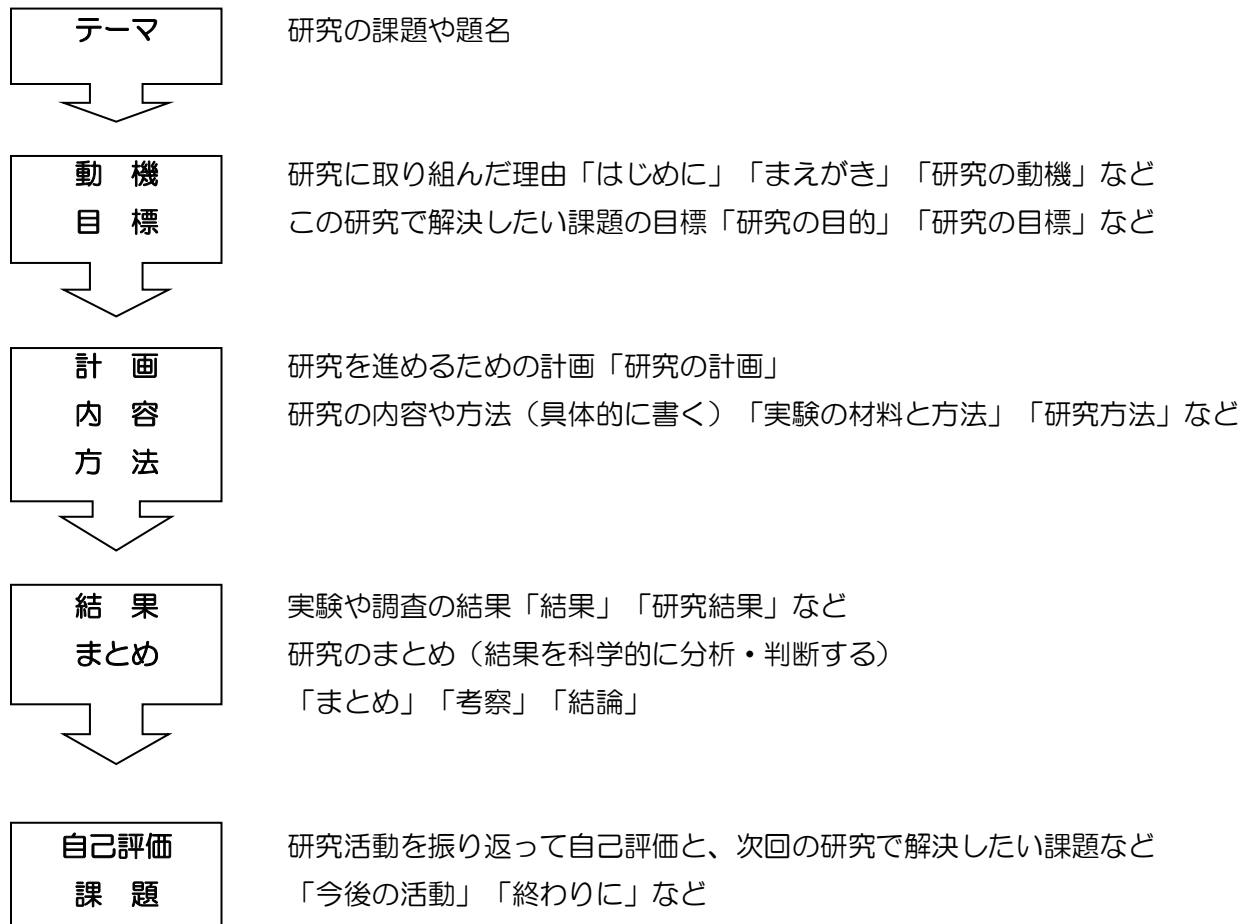
- 農業クラブ活動の記録は、FFJ ファイルによくまとめること。
- 特級受検の際、ファイルの点検や審査は県連盟で行うこと。

手続きの方法

手続きの流れ	解説
クラブ員が行うこと	FFJ 検定〔上級〕取得者のなかで、特級受検にチャレンジしたいクラブ員は、 <u>所定書式の検定願書、プロジェクト報告書、要旨書及び検定手数料を添えて単位クラブに提出する。</u> ＊提出した書類は返却されないので注意すること。
単位クラブで行うこと	単位クラブでは、個人ごとに <u>推薦書を所定様式で作成</u> する。 <u>※所定の様式を使用しない物は、受領できない。</u>
県連盟事務局で行うこと	県連盟事務局では、単位クラブから提出された書類をもとに審査を行い、 <u>県連盟代表の承諾を得た上で</u> 下記の書類をメールおよび郵送で <u>日本学校農業クラブ連盟事務局宛</u> に提出する。 ・FFJ 検定「特級」受検者一覧表（様式Ⅳ）、申し込み様式一式（様式Ⅰ～Ⅲ） …<u>メール</u>にて提出 ・プロジェクト報告書（原本およびコピー 10 部）、受検手数料 …<u>郵送</u>にて提出 ＊県連盟事務局は、検定委員会を開き、必ず受検者の審査を実施すること ＊活動の記録である FFJ ファイルの点検や審査は県連盟で行うため、FFJ ファイルは日連へ提出しない ＊提出書類に不備がないように再点検すること

(3)プロジェクト報告書のまとめ方

プロジェクト報告書は、研究論文のスタイルでまとめましょう。研究論文の基本的な形式は、序論・本論・結論の順で構成されます。下記のように、項目を立てて構成します。



研究内容によっては、構成や展開がこの例とは違ってくる場合もありますが、いずれにしても研究の全体像が捉えやすいように、図表や写真をまじえて、分かりやすく、また自分の言葉で表現し、書くことが大切です。そのため、ワープロ原稿やグラフ・表の作成は、パソコンを使って、作成しましょう。また、図や写真は必要に応じて縮小するなど工夫をして、オリジナルのプロジェクト報告書を作成しましょう。

報告様式はプレゼンテーションソフトの様式をそのまま使用するのではなく、見やすい報告書の作成に取り組みましょう。

(4)FFJ 検定基準

- 1 目的 FFJ 検定は、節目を設けて日頃の学習ならびに学校農業クラブの実践で得られた成果を確認し、クラブ員が相互に協力してかつ競い合う中で向上心を養い、学校農業クラブの目標である科学性・社会性・指導性を高めようとするものである。

2 検定基準

		初 級	中 級	上 級	特 級
科学性	プロジェクトなど	入門的プロジェクトを行い、正しい記録を残している。	プロジェクトに熱心に取り組み、努力、発展の跡がみられる。 (職業的資格取得をもって替えることも可) 検定実施までに学ぶ知識の習得状況が良好である。	プロジェクトに熱心に取り組み、その内容、成果のまとめもしっかりしている。 (職業的資格取得をもって替えることも可) 検定実施までに学ぶ知識の習得状況が優秀である。	プロジェクトの成果が上級取得者の中でも特に優れている。 (職業的資格取得をもって替えることは不可)
	専門科目に関する知識	1 年生で学ぶ基礎的知識を理解している。			
社会性・指導性	農業クラブ活動への理解と参加	○学校農業クラブの目的を理解し、単位クラブの会則や年間計画等を把握している。 ○単位クラブの行事に参加し、その記録を残している。	○日本学校農業クラブ連盟の歴史や現状、会則、行事内容などの要点について把握している。 ○農業クラブ活動の中でクラブ員としての責任を積極的に果たしている。	リーダーシップを発揮し実績を上げている。 (①～③のいずれかに該当する) ①単位クラブ内で他のクラブ員の模範となる働きをしている。 ②役員などで県連盟以上の会議、研修会などの参加実績がある。 ③単位クラブの代表として発表会、競技会などへの参加実績がある。	上級取得者の中でも活動実績が顕著である。
標準検定時期		1 学年の 3 学期	2 学年の 2～3 学期	3 学年の 1 学期	3 学年の 10 月初旬
検定実施機関		単 位 ク ラ ブ		県 連 盟	日 連
提 出 物		各検定実施機関の指定するもの (日連が発行している「FFJ ファイル」を使用することが望ましい)			検定願書、プロジェクト報告書、受検手数料、推薦書、受検者一覧、要旨書
備 考		1. 中級および上級の受検にかかわり、初級および中級の取得者であることを条件とするか否かは県連盟で定めることとする。 2. プロジェクトの成果に代替し得る職業的資格の範囲や区分については県連盟で定めることとする。			県連盟は、上級取得者から、一層の成長が期待できる者を推薦すること。